

～さいつ～

佐伊津小学校便り

令和3年6月9日

No. 24

文責

校長 甲斐 裕一

さわやかあいさつ いっしょけんめい つよい体

先日の運動会は奇跡的に晴れ、予定通り実施することができました。当時は多くの皆様に応援をいただき、子どもたちも張り切っていたようです。大きなけががなかったことも有り難い限りです。保護者の皆様には、金曜日の準備を変更いたしました。多くの皆様にご協力いただきました。また、当日は朝早くから準備においでいただきました。競技開始前から駐車場や受付のお世話などに取り組んでいただきました。本当にありがとうございました。

運動会が終わり6月に入りました。6月は祝日もなくまるまる1か月、授業日になります。授業に集中し、さまざまな教育活動を展開してまいります。

まだまだ、新型コロナウイルス感染症の状況も心配されるところです。学校としましても、何か新たな取組を行うのではなく、これまでどおりの感染防止対策を徹底することとしております。どうか、今後も学校、家庭、地域で新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めていきたいと存じます。

水俣に学ぶ肥後っ子教室(5年生)を実施しました

6月4日、5年生が「水俣に学ぶ肥後っ子教室」をオンラインで学習しました。(上写真)

本来なら、水俣市へ行き、水俣病資料館や熊本県環境センターで学習するのですが、コロナ禍であるためオンラインでの学習となりました。「水俣に学ぶ肥後っ子教室」には次の目的があります。

1つは、水俣病に関する正しい知識や認識をもたせ、人権を大切にしようとする意識を育てること。もう1つは、地球規模の環境問題について学び、環境保全への意識を高めること(今回は、水資源に関する学習)です。

環境問題についての学習では、カメラの前から質問もしました。(中写真)

水俣病資料館の語り部 緒方さんの話も聞きました。とても胸を打つお話でした。(下写真)

現地に行き、五感を働かせて学習することが望ましいのですが、コロナ禍の中で、できる限り有意義な学習ができるようにと関係者の皆様にご配慮いただきました。おかげさまで、子どもたちは熱心に学習に参加していました。

この学習を通して、「環境保全への意識を高め、実践できる力を高めること」「水俣病への正しい理解や認識をもち、人の痛みがわかり、人権を守ろうとする意識を高めること」について、指導していきたいと思えます。

※本校ホームページから引用



地域の大先輩から学ぶ～6年生キャリア教育～

6月2日(水)、6年生の総合的な学習の時間に、ゲストティーチャーとして、「南蛮菓子店 えすぼると」を運営されている明瀬晴彦様においでいただき、「夢をもつ生き方 幸せになる人生を選ぼう」と題し、ご講話をいただきました。



まず、天草の歴史とお菓子の関係についてお話しいただきました。南蛮柿とはいちじくのこと、その昔、天草に大正遣欧少年使節がやってきて、南蛮菓子が伝わったといった歴史のこと、お菓子の研究のためのポルトガル旅行記のことなどお話していただきました。興味深い内容ばかりで、子どもたちは目を輝かせ、お話に耳を傾けていました。

また、「夢は人生の目的を達成するための手段。夢をもって！バックキャスト法をおすすめします。相談したいことがあればいつでもどうぞ。」という地域の大先輩からのメッセージは、子どもたちの心に響いたようです。

キャリア教育は、児童に職業観や勤労観を育むことをねらいとしています。そのために地域の大先輩にご協力いただきました。佐伊津にはこのような方々がたくさんおいでになり、学校としても心強く思っております。明瀬さん、本当にありがとうございました。

雨天登校時の自家用車の学校への乗り入れについて

前号で、学校へ自家用車でおいでになる場合、遵守いただきたいことをお願いいたしました。今回は、雨天時の登校時間において、次のことについてご協力いただきますようお願いいたします。

この場所に車を停めて、児童を降車させないようお願いいたします。歩いて登校する児童が通るためにあけておいてください。



車はこのように停車し、安全に気をつけながら児童を降車(左側から)させてください。その後、→の方向にお進みください。※前の車を追い越さないでください。